

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 基本理念

第9期計画では、第8期計画に掲げた基本理念を引き継ぎ、基本目標については、栗山町第7次総合計画と整合性を図りながら、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年（2025年）だけではなく、団塊ジュニア世代が高齢者となる令和22年（2040年）を見据えたビジョン・目標を設定して取り組みます。

また、支援が必要となった高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、介護や医療をはじめコロナ禍で浸透したデジタル技術の活用や、介護人材の確保に積極的に取り組み、地域包括ケアシステムをさらに深化する必要があります。

これらを踏まえて、第9期計画は令和22年（2040年）を見通した中長期的な展望から、包括的な体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制の構築を進めていきます。

【基本理念】

高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送ることができ、また、介護が必要な状態になっても生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

目指す地域包括ケアシステムの姿

